

## 刈安山を愛した

### 「永井鱗太郎」の作品を愉しむ

日時：5月12日（土）

会場：あわら市中央公民館大ホール あわら市市姫 1-9-18（73-2000）

開場：PM1：00

開演：PM1：30

フルート演奏：達川なつみ

ピアノ伴奏：久末宏子、久末唯

#### 作品紹介

短歌・詩：金津中学校報道部生徒

金津東小学校校歌：金津東小学校児童

童話：大下たみ子



主催：「永井鱗太郎の作品を愉しむ会」実行委員会

実行委員長：牧田孝男（090-1635-5710）

共催：あわら市文化学習課

後援：福井新聞社

# 刈安山を愛した永井鱗太郎の作品を愉しむ

平成30年度 第2回生き生きセミナー（市民大学講座）

日時 5月12日（土）  
開場 PM 11:00～  
開演 PM 11:30～  
会場 中央公民館大ホール

あいさつ

1 オープニング演奏 アヴェマリア

2 作品紹介

短歌・詩	金津中学校報道部生徒
金津東小学校校歌	金津東小学校5、6年児童
童話	大下たみ子

3 刈安コンサート

演奏

「タイス」の瞑想曲	フルート	達川	なつみ
カンツォーネマドレー	ピアノ	久未	宏子
涙そうそう	ピアノ	久未	唯

4 甥が語る永井鱗太郎

永井法男

5 エンディング演奏

花売り

あいさつ

主催 実行委員会「永井鱗太郎の作品を愉しむ会」

共催 あわら市文化学習課

後援 福井新聞社

### 永井麟太郎略年譜

- 明治40年2月 坂井郡金津町八日に生まれる。
- 大正11年3月 金津尋常小学校卒業。
- 昭和2年3月 福井師範学校卒業。在学中から文学に親しみ、以後詩作に専念する。
- 同2年4月 坂井郡伊井小学校に赴任。
- 同5年4月 坂井郡高椋小学校に転任。
- 同8年6月 児童文学者を目指して上京。  
東京市内の小学校に勤務するかたわら劇作家として活躍。
- 同48年3月 金津東小学校の校歌を作詞、その発表会に招かれる。
- 同59年11月 芸術文化功労者として勲5等瑞宝章叙勲。
- 同年12月 短歌新聞社より歌集「かりやす」を出版。
- 同60年10月 金津町刈安山自然公園内に文学碑が建立される。
- 同年11月 5日 心不全のため逝去。享年78歳。





短歌集「かりやす」より

刈安の峠に立ちてひとまたぎ 越前越えて加賀を踏みたり  
雲垂れて越前平野の果つところ 日本海はしづかに眠る  
水さらさら刈安川のみなもとは 神代ながらに水澄みに澄む  
荒川の岸辺に立てば一生を 鮒捕りて死にし父しおもほゆ  
母のみ顔知らで育ちしわれなれど 天澄む時は天に座す見ゆ  
あの声はみみずが鳴くぞと教へたる 祖母のみ年を病みつ越えぬ  
たらの芽の 食べられることを 教へたる 弟死せり 南の島に  
山寺の尼僧が時を告げし鐘も たすきをかけて戦さに征きぬ  
河骨の 黄色き花が ゆれ動く 竹田の川の面 なつかしきかも  
ふるさとの 社の裏の貝塚は 今も昔のまま なるらんか

北<sup>うみ</sup>潟の湖よりとれし公<sup>わがま</sup>魚を 食べ飽きるまで食べるたのしさ  
醤油のかび白く浮きしをとりのぞき ご飯にかけし頃のなつかし

詩

花売り 作詞 永井善太郎 作曲 今川 節 昭和6年作

花を召せ 花を召せ  
風に声ありあさぼらけ  
猫柳 黄水仙  
涙の化れる花を召せ

今日も通るか教え子は家近く  
師を憚りて声をおとせり

花を召せ 花を召せ  
雪に声あり遠なり  
雪に咲く 胸に咲く  
月より清き花を召せ

金津東小学校校歌

作詞 永井鱗太郎

作曲 小林三千三

一 朝日かがやく劔ヶ岳  
きそつてそびえる刈安の  
ふもとに知恵の声あげて  
進んで学ぶまなびやは  
たのしい たのしい  
わが金津東小学校

二 古い歴史の坪江の郷  
伝えてはばたく小鳥らと  
このふるさとをたたえつつ  
仲よくまなぶまなびやは  
うれしい うれしい  
わが金津東小学校

三 坂井平野にかおる風  
平野のみりを歌いつつ  
まことの道をきりひらき  
正しくまなぶまなびやは  
あかるい あかるい  
わが金津東小学校

昭和6年作

